

いろいろな葉っぱを見てみよう

- 1 日時：平成30年9月2日（日）
午前の部 11：00～12：00
午後の部 13：15～14：15
- 2 場所：福井ふるさと学びの森（大野市 自然保護センター自然観察の森）
- 3 参加者：2人（大人2人、子ども0人）
- 4 講師：廣野 栄美さん（自然観察指導員の会）
- 5 主催：福井県自然保護センター、福井県里山里海湖研究所
- 6 イベントのようす：



黄色が鮮やかなオミナエシ



ツリフネソウ（舟を釣っているような形）



オオバコの白い花がくっきり

天候は良好で自然観察に適していた。参加者は夏休みの最後の日曜日ということもあっておとな2名のみだった。

自然観察指導員の廣野さんのサポートを受けながら、高原に見られる多種多様な植物の花や葉を観察することができた。

自然保護センターのすぐそばにはオミナエシの群生が見られ、黄色が鮮やかで際立っていた。

散策路に入ると、ツリフネソウ、キキョウ、オトコエシ、キンミズヒキ、ヌスビトハギ、ツリガネニンジン、オオバコなどとても多くの植物が見られた。それぞれ葉や花の形がさまざまで、名前の由来や繁茂する場所の特徴を教えてくださいました。

葉とともに昆虫その他の生き物にも出会うことができた。キトンボ、シオカラトンボ、ナツアカネ、アキアカネ、ザトウムシ、コオロギ、サワガニなど。

この散策をとおして、高原一帯に多様な生き物が生息していることを実感できた。

午後には参加者は1名になってしまったが、植物写真の撮影を趣味にしている方だった。「現地に足を運び、観察することで初めて出会えるものがあること、自然の大きさとか不思議をそのたびに感じる」という言葉が、とても印象的だった。